

第50回（公社）砂防学会シンポジウムの開催のお知らせ

テーマ「変動帯における大規模な土砂災害と減災対策」

（公社）砂防学会

公益社団法人砂防学会では、砂防技術者を対象に、知識の普及と技術者の育成を図り参加者間の意見交換により研究の内容を深めることを目的として、毎年1回全国規模のシンポジウムを開催しています。

今年度は、10月1日から4日まで富山県富山市富山国際会議場で開催されるインタープリメント2018の4日目午後のパネルディスカッションを、第50回（公社）砂防学会シンポジウムとして開催します。

今回の砂防学会シンポジウムも、学会員に限定せず、住民の方々にも多数ご参加いただけるものいたします。パネルディスカッションを通して共有される国際的な知見、情報は、都道府県や市町村の行政担当者の方々にも有益なものとなると考えます。

なお、このシンポジウムは、技術者継続教育（CPD）の履修実績として申請することができます。

1. シンポジウムの目的

本シンポジウムでは、極端な気象現象並びに変動帯特有の火山・地震によって引き起こされた大規模な土砂災害と闘ってきた人間の技術、歴史的砂防施設及び土地利用規制の評価と今後の活用に焦点を当て、災害の特徴や対策施設の計画、効果評価、長寿命化等について世界の研究者等による総合的な議論を行うものです。

2. 開催日時・会場

（1）日時 平成30年10月4日（木） 14:00～16:40

（2）会場 富山国際会議場 3階「メインホール」及びホワイエ

〒930-0084 富山県富山市大手町1番2号

（3）パネルディスカッション参加者

コーディネーター 山田 孝（北海道大学）

パネラー アンドレアス・ゲッツ（元スイス環境庁）

アレサンドロ・パスト（イタリア国家研究評議会）

謝正倫（台湾国立成功大学）

アゴスティーノ・T・オグラ（ブラジル・サンパウロ州立技術研究所）

大坂 剛（国土交通省）

（4）言語 英語ですが、パネルディスカッションのみ日本語同時通訳が付きまます。

3. 参加費 3,000円（砂防学会員に限定しませんが9月18日までに事前登録が必要です）

4. 参加申し込み等

（1）申込方法など

シンポジウムの参加申し込みの受付事務は砂防学会事務局が担当いたします。

申し込みは学会ホームページからお願いいたします。支払方法は、銀行振込み、クレジット支払い、コンビニ支払いを準備しますが、詳細はホームページにてご確認ください。

銀行振込み、コンビニ支払いの場合は、申し込み後8日以内に支払いを済ませて下さい。

10月4日の砂防学会シンポジウムへの受付にはホームページから出力した参加証をご持参下さい。

同時通訳受信装置手配の関係から当日参加をお断りする場合がありますので期限内にお申し込み下さい。

(2) 申込締切日 平成 30 年 9 月 18 日(火)

なお、定員になり次第締切らせて頂きますので、あらかじめご了承ください。

(3) 取り消し、変更について

参加申込みの取り消し・変更はできません。ご入金後は「返金いたしません」のでご注意の程お願いいたします。また期日までにご入金がなかった場合には申し込みは無効となります。

(4) 問合せ先

(公社) 砂防学会事務局 杉浦、大久保、若原
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4 砂防会館別館 3 階
Tel: 03-3222-0747 Fax: 03-3230-6759
E-mail: sabou@js5.so-net.ne.jp
(参加申し込みは砂防学会のホームページ等でご確認下さい。)

5. 会場までの案内

会場へのアクセス:

- 東京国際空港(羽田)⇄富山きときと空港
 - ・直行便・・・約 1 時間

- 富山きときと空港⇄富山国際会議場
 - ・タクシー・・・約 20 分 そうがわ
 - ・バス(空港連絡バス)・・・約 25 分「総曲輪」下車 徒歩 2 分

- JR 東京駅⇄JR 富山駅
 - ・北陸新幹線・・・約 2 時間 10 分(かがやき)

- JR 富山駅⇄富山国際会議場
 - ・市内電車(セントラム)・・・約 7 分「国際会議場前」下車
 - ・バス・・・約 5 分「城址公園前」下車 徒歩 3 分
 - ・徒歩・・・城址大通りを南へ約 15 分

